



百歳おめでと〜ございます

山本フジエさん

一月十日、奈良木町在住の山本フジエさんが、百歳の誕生日を迎えました。

山本さんは、耳が遠いものの、身の回りのことはたいてい自分でするほどお元気です。普段は、愛犬のマルちゃんと一緒に縁側でひなたぼっこをするなど、のんびりとした毎日を送っています。

お正月に佐賀から帰省したひ孫さんと会えたことを大変喜ばれ、お年玉を渡されたそうです。

長生きの秘訣は、「叔父なども百歳以上生きましたので、家系でしようか」とのことでした。



花束を受け取り喜ぶ山本さん

「子どもたちの福祉に役立てて」

オリックスの塩崎真選手が寄付金

本市出身でオリックスパフアローズの塩崎選手が、十二月二十七日、飯田哲後援会長や父親の信一さんらとともに市役所を訪れ、市長代理の水谷収入役に寄付金を手渡しました。

前日に、同選手の後援会総会が行われ、その席上でオリックスブルーウェーブのユニホームをチャリティー販売。その売上金を寄付したものです。

同選手は、昨シーズン終盤には四番打者を務め、打率も三割四分一厘の好成績を残しました。新チームでも主軸選手としての活躍が期待されます。



役員を真に受け渡す水谷選手(右)

笑いで不景気を吹き飛ばせ!

劇団やつちろ本町笑店街「そらよかばい」公演

一月十日、本町一丁目商店街空き店舗にて、劇団「やつちろ本町笑店街」による顔見世公演「そらよかばい」が行われました。この劇団は、本町一丁目商店街の店主らが、空き店舗を利用して劇をすることに

よって、商店街をもっと身近に感じてもらう、商店街の活性化につなげようと結成したものです。

当日は、五十人定員の会場に三回公演で約二百五十人が詰め掛け、繰り広げられる劇に大きな笑いが起きていました。



七福神に扮する本町商店街の劇団員

つた。商店街の人達の頑張りや伝わってきた。などの声が聞かれました。

次回公演

は、三月十三日の午後一時、三時の二回が予定されています。

気持ちも新たに

八代市成人式

一月九日、八代市厚生会館で八代市成人式が開催されました。新成人十一人が中心となって実行委員会を結成し、企画から司会までを行いました。

当日は、心配された雨もなく、式典には約六百人の新成人が参加し、



商店街のイベントで人力車に乗って記念撮影する新成人

厳肅な雰囲気の中、進行しました。今回初の試みとして、ポラロイド撮影会のあと、その写真を各商店街掲示板に展示するイベントがあり、新成人は、記念に撮った写真に自分の気持ちや抱負などを書き込んでいました。

各商店街でも、趣向を凝らした催しが行われており、多くの新成人がそれぞれ楽しんでいました。式典に参加した新成人に抱負を聞いたところ、「二十歳になったので選挙に行きたい。」「四月から福岡で働くので頑張ります。」「笑顔で語っていました。」

車に気をつけて

サンタが交通安全の呼びかけ

十二月二十二日、八代地区交通安全管理者等協議会(有川三省会長)が、市内の保育園などを訪問し、園児たちに交通安全標語が入ったクリスマス

「くるまにきをつけてます!」(つるまる保育園で)

クルスマス



プレゼントを贈るなど、交通安全啓発活動を行いました。

同協議会は、八代警察署管内の事業所の交通安全管理者で組織され、日頃から研修や交通安全啓発活動などを行っています。

このクリスマスイベントは、同青年部の役員が中心になってサンタクロースなどに扮し、園児たちと交流しながら交通安全の呼びかけをするものです。

プレゼントを受け取った園児たちは、「交通安全に気をつけます!」と元気な声でサンタさんと約束しました。

まちを守る決意を新たに

八代市消防団出初め式

一月十六日、麦島小学校グラウンドで、八代市消防団出初め式が行われ、市内三十三分団、約九百人の消防団員が参加しました。

式典では、殉職者黙祷の後、富田助役と内山憲治八代市消防団長が訓示。その後、消防活動に功績のあつた人への表彰や八消火消し太鼓による迫力ある演奏、幼年消防クラブの点検などがありました。

式典後、前川橋上流で行われた一斉放水では、球磨川右岸に待機していた六十六台の消防ポンプ車と、今年初めての参加となった女性消防団員が、爆竹を合図に勢いよく放水。迫力ある水のアーチに、親子連れなど多くの人が足を止めていました。



球磨川対岸に届きそうなほど迫力ある一斉放水

いろんな世界をひろげて!

第八回学術講演会

一月十三日、八代市厚生会館で、財団法人宮嶋利治学術財団主催による第八回学術講演会、南極の海を科学する「がありました。」

講師の大越和加さんは、第四次二次日本南極地域観測隊に参加し



南極の自然を語る大越さん

ました。南極に行くまでのエピソードや南極大陸での体験談を、スライドを交えて紹介し、「躊躇して生きていくよりも、少しでも面白いことをし、一歩でも踏み出すほうが、より楽しい生き方ができるのではないのでしょうか。みなさんも、ぜひ何か行動を起こしてみてください。」と話しました。

南極大陸の自然や生き物の様子など楽しい体験話に、会場は驚きの声や笑いが巻き起こる一幕もあり、講演後には盛大な拍手が贈られていました。

五穀豊穡を願って

八代妙見宮「御田植祭」

一月三日、八代神社で五穀豊穡を祈願する「御田植祭」がありました。夜明け前の吐息も凍るような寒さの中、拝殿には地元の農家や氏子など、約五百五十人が集まりました。

小林宮司が、「昨年は台風が相次ぎ上陸する災害の年となり、農家にとっては大変厳しい一年でした。今年も、良い天気に恵まれ、豊作になるよう祈願します」とあいさつした後、宮司と権禰宜の二人により、カシの枝を「くわ」、松葉を「苗」、豊を「田」に見立てて米作りを模した神事がありました。



苗に見立てた松葉なども、豊作の縁起物として奪い合われました